

週間漁海況情報 2025年第51号

令和7年12月23日発行

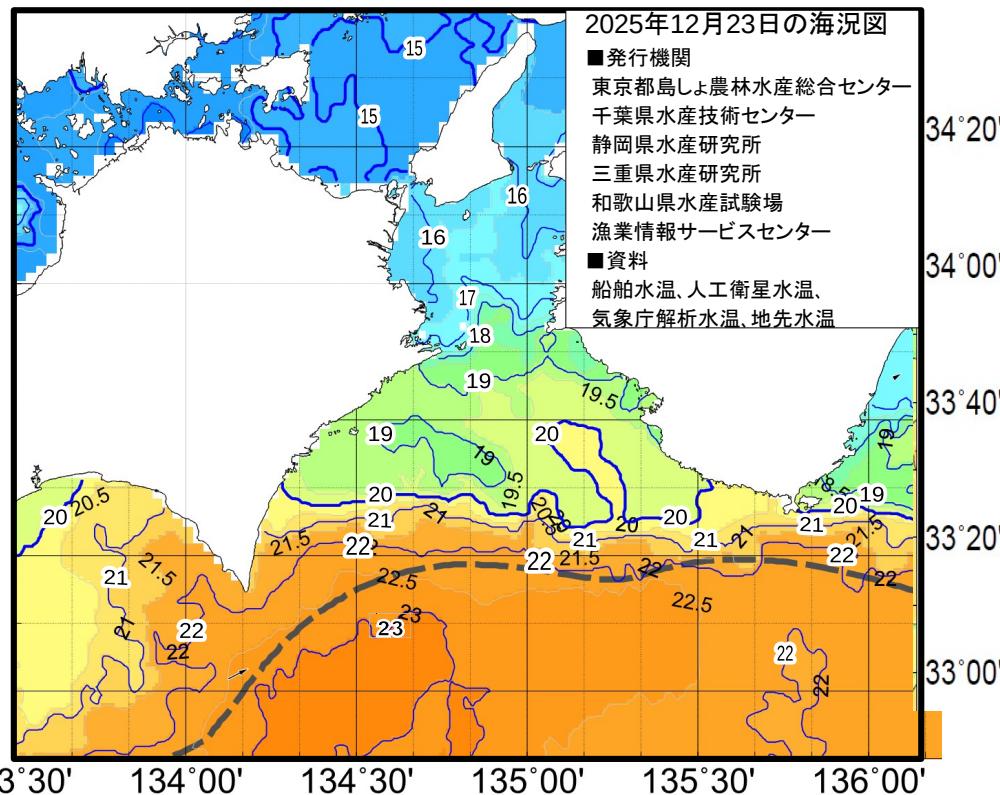
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は20～23°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で14～15、紀伊水道で15～18、海部沿岸で18～19°C台となっている。

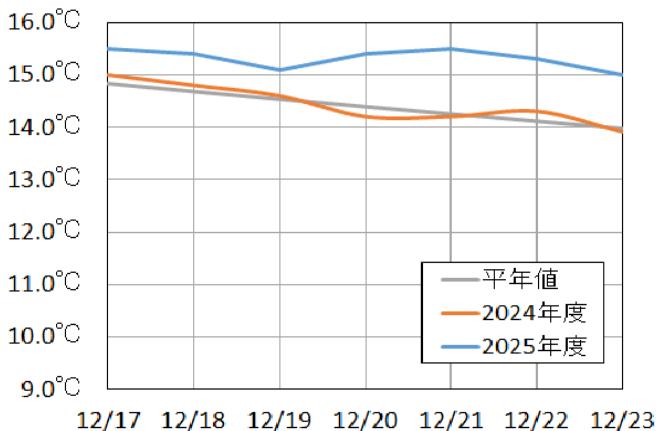


直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

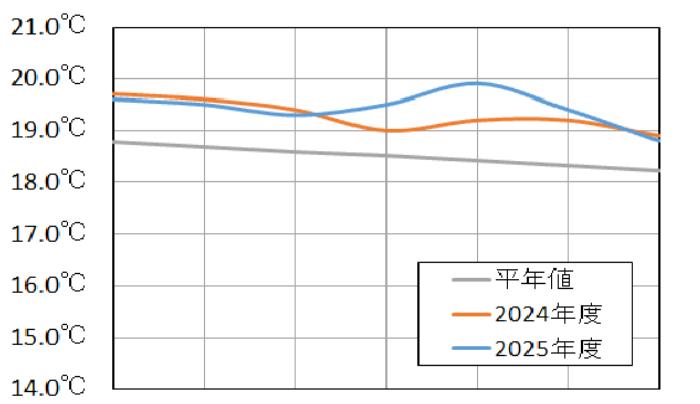
2. 地先水温(12月17日～12月23日)

鳴門地区の水温は、15.5～15.0°Cで「やや高め」で推移。浅川地区は、19.9～18.8°Cで「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.8～4.4°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(12月24日～12月30日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (12月15日～12月21日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが28.9t水揚げされた。
 延縄では、あまだい類が増えて1.5t、サワラが減って0.8t水揚げされた。
 底びき網では、モンゴウイカが増えて2.4t、クマエビが1.2t、
 ハモが大きく減って中主体に0.5t水揚げされた。
 建網では、カワハギが大主体に0.6t水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが増えて1.7t、カワハギが増えて大主体に1.4t、
 イサキが1.1t、メジナが大きく増えて0.5t、すずき類が0.4t水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ブリが1.3t水揚げされた。
 小型定置網では、アオリイカが大きく増えて小小主体に0.4t、
 すずき類が大きく増えて大主体に0.4t、メジナが大きく増えて0.3t水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが大きく増えて3.2t、メアジが増えて2.3t、
 シイラが増えて小小主体に0.9t、マルアジが大きく減って小小主体に0.5t、
 カンパチが大きく減って中主体に0.4t水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)	1日1隻あたり 平均漁獲量	銘柄	前週比*
紀伊水道	船びき網	71	シラス	28,890	407		→
	延縄	78	あまだい類	1,520	19		↗
		34	サワラ	763	22		↘
	底びき網	27	モンゴウイカ	2,394	89		↗
		26	クマエビ	1,185	46		→
		24	ハモ	463	19	中主体	↘↘
	建網	72	カワハギ	562	8	大主体	→
	小型定置網	22	マアジ	1,740	79		↗
		28	カワハギ	1,410	50	大主体	↗
		22	イサキ	1,098	50		→
		16	メジナ	533	33		↗↗
		14	すずき類	355	25		→
	釣り	51	ブリ	1,281	25		→
海部沿岸	小型定置網	52	アオリイカ	439	8	小小主体	↗↗
		15	すずき類	419	28	大主体	↗↗
		5	メジナ	304	61		↗↗
		6	マアジ	3,161	527		↗↗
	大型定置網	6	メアジ	2,282	380		↗
		6	シイラ	914	152	小小主体	↗
		6	マルアジ	494	82	小小主体	↘↘
		6	カンパチ	370	62	中主体	↘↘

* 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘